

上級ミクロ経済学

前半：森知也 後半：梶井厚志

◎カリキュラム構造

- ・ 大学院レベルのミクロ経済理論は週2回通年でカバーするのが世界標準
 - 前期：「上級ミクロ」で全体像
 - 後期：ゲーム理論と価格理論をより詳しく
- ・ 後期の対応科目（それぞれ週1回）
 - 中級ゲーム理論（今井）
 - 一般均衡理論（梶井）
 - ＊独立な授業なので、片方のみの受講も可能

◎講義日程

講義期間：4月9日～7月14日

前半（森）：

第1回(4月9日)～第12回(5月21日)

予備日(5月26日)

中間試験(5月28日)

後半（梶井）：

第13回(6月2日)～第24回(7月9日)

期末試験(7月14日)

◎評価基準

- ①中間・期末試験結果・宿題
- ②中間・期末試験のみ（宿題の加算分は無し）

◎ティーチング・アシスタント

前半：宮本翔 (D1)

後半：稲見裕介 (D4)

業務内容：

宿題採点

略解作成

オフィスアワーにて質問受付

◎ウェブサイト

森：<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~mori/course/micro08/>

梶井：<http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/~kajii/>（授業情報リンクをたどる）

◎授業計画

前半：

- ①（完全競争下での）生産者・消費者の理論
- ②一般均衡
 - ・簡単な定義
 - ・モデルの具体例：国際貿易モデル
- ③独占・独占的競争モデル

後半：

①部分均衡分析：余剰・費用便益分析、外部性

②不確実性：期待効用理論・金融資産の価格付け

③ゲーム理論の基礎と戦略的競争：

ゲーム理論の基礎・寡占・戦略的価格競争

④公共財・市場の失敗：フリーライダー・費用分担と情報

⑤産業組織論の基礎：

参入障壁・参入阻止・暗黙の協調

⑥情報の経済学：オークション・モラルハザード・逆選択

⑦一般均衡理論：

エッジワースボックス、厚生経済学の基本定理、
均衡の存在問題

◎参考文献

前半：

①イントロダクション

a) 奥野・鈴木「ミクロ経済学Ⅰ」第1～3章

b) 矢野誠「ミクロ経済学の基礎」第1章

②生産者・消費者の理論

a) 奥野・鈴木(I)：第4～12章

b) Mas-Colell, Winston and Green：第1～5章

c) Varian H., Microeconomic Analysis, 3rd ed., 第1～9, 13

d) 西村和雄, 「ミクロ経済学」東洋経済(1990)第2～7.1

③一般均衡（簡単な定義）と国際貿易モデル

a) Helpman E and Krugman PR

Market Structure and Foreign Trade

MIT Press (1985) : 第1章

b) Jones RW, *J of Political Economy* 73 (1965): 497-512

c) 伊藤・大山 「国際貿易」, 岩波書店(1985) : 第2,3章

④独占と独占的競争

a) MWG(第12.B節)

b) Beath and Katsoulacos

The Economic Theory of Product Differentiation

Cambridge U Press (1991) : 第3章

c) 松山公紀, “独占的競争の一般均衡モデル”

伊藤元重・岩井克人(編)「現代の経済理論」第3章(1994)

d) 矢野誠 「ミクロ経済学の応用」第9章(2001)

後半：

- Mas-Colell, Winston and Green (1995)
- Gibbons, R., Game Theory for Applied Economics
Princeton Univ. Press (1992) – 邦訳あり

その他は後半の授業でしめす